

# これでいいのか公共トイレ

後藤隆徳

先日、伊豆ウオーキングで山中城跡に十数名で立寄った。ここでトラブル。7時前でトイレが開いていない。仕方がないのでバスで箱根峠下に行き、そのトイレを使用した。バスがなければとても困ったろう。トイレに行かない人が城跡で待っていると、乗用車が来てトイレのシャッターを開けた。時間は午前7時だった。

車に乗っていたのは、三島市の女性職員と地元のトイレ開閉係だった。後日、市役所に問い合わせたら、トイレの開閉は10月～3月は、7時～16時、4月～9月は、7時～17時という。開閉シャッターは建設時からあったそうだ。また、開閉時間は、いままでクレームはなかったという。電話の要点は、時間設定の根拠だ。何を根拠にその時間にしたか。

私はこの3年、北海道に車で登山しているが、公共のトイレが閉まっているところは皆無。夏、車旅行者が多い北海道でそんなことがあったら、総スカン（好かん）だ。そんなことがあれば訪れる人はいなくなる。車で移動する人にとって、トイレが最も重要な問題。実際、当日朝、キャンピングカーが1台駐車していたが、トイレはどうしたか。恐らく困ったであろう。結局、トイレ閉鎖は、車旅行者などの「締め出し」である。

車旅行者にとって一番の問題はトイレ。それは誰でも明白。水は貯水出来るので何とかなる。トイレはそうはいかない。市は、暴走族・浮浪者対策といった。しかし開場が、夏＝7時では遅すぎる。普通夏は、5時起床・6時食事・7時行動開始である。時間は貴重で特に登山は、「早出・早着」が基本。閉場時間も納得出来ない。夏17時は、まだ観光客・旅行者・ウォーカーが活動している時間ではないか。

市は開閉時間が早くなったり、遅くなったりすると係が対応出来かねるといったが、公共トイレで開閉係を心配するのか。そもそも、目線が利用者目線でない。税金で管理しているにもかかわらず、利用者無視、管理者利益を考えると理解できない。以前、富士宮・白糸の滝トイレでも、同じようなことがあった。

観光地は様々な方が、イレギュラーの時間で訪れる。それに対応できなければ観光地の宣伝は止めたほうが良い。観光地として広く呼び掛けているならそれなりの対応が必要だ。三島市に改善を希望します。



問題のトイレ